

(2) コタマゴテングタケ類似種 (テングタケ科テングタケ属)

期 日：平成23年10月22日，11月6日

場 所：唐津市虹の松原

10月22日，虹の松原で行われた，一般者対象の観察会に参加しました。翌日に行われる勤務校の文化祭に，写真とともに展示するきのこを手に入れるためでもありました。持ち帰ったきのこの中に，右写真のきのこがありました。ツバが黄色なのが気になり，図鑑で似たものを探しましたが，見つかりませんでした。黄色いツバを持つテングタケ科といえば，クロコタマゴテングタケしか思いつきません。



(平成23年10月22日撮影)

そこで，蒲原さんをとおして，長澤栄史先生に見ていただいたところ，「西日本のマツ林に良く発生するコタマゴテングタケ類似種です。つぼのところに当たる柄基部に紫色を帯びた染みを生じるのが特徴（今回の標本にも認められる）で，今のところコタマゴテングタケ（広義）の一変異種として取り扱っていますが将来的には別種となる可能性もあります（*Amanita sinocitrina*, *A. citrine* f. *lavendula* などのとの比較検討が必要）。」というメールをいただきました。

きれいな写真を撮ってなかったので，11月6日，唐津市厳木町天川で行われた観察会の終了後，虹の松原まで行き，撮影したのが右の写真です。時期的に無理かなと思いつつ探したところ，きれいなのが生えてました。最後の一本だったかもしれません。



(平成23年11月6日撮影)

今年は，孢子等の観察，うまくいけば標本作りをしたいと思います。みなさんも，虹の松原に行かれた時は，黄色いツバをもつテングタケ科のきのこを探してみてください。



(3) 不明種

期 日：平成23年10月22日

場 所：唐津市虹の松原

10月22日，虹の松原で行われた，一般者対象の観察会で採集されたものです。これが，きのこの仲間なのか分かりません。全体が柔らかく，柄のような部分が中空になっているようです。

兵庫きのこ研究会の掲示板に投稿したんですが，返答はありませんでした。不思議な生物です。今年も見つかればいいですが。

